

▽ 品質方針

『お客様に満足と信頼を提供する』

当社は、小物精密プレス部品メーカーとして、独自の金型技術、製造工程設計技術を生かし、「高品質」の製品を「低コスト」で造り、「短納期」で供給することにより、顧客満足の向上を追求し、価値づくり経営で、100年企業を目指します。
又、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。

▽ 環境方針

『地球に優しい物づくり』

当社は、地球環境の保全が、人類共通の最重要課題であることを認識し、持続可能な資源の有効利用を目指します。
併せて、琵琶湖〔滋賀〕、鬼怒川〔栃木〕、揖斐川〔岐阜〕の存在を常に意識しながら、環境関連の法規制、条例及び当社が受け入れたその他要求事項を遵守すると共に環境汚染の予防、環境保護に努め、事業活動を通じて、地域社会に貢献します。
又、環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。

□ 社会貢献

- ・ 事業活動を通じ、カーボンニュートラル・SDGsの目標達成に取り組む
- ・ 各生産拠点の若手人材育成の推進
- ・ 地域環境保全活動への参加
- ・ 新工法の開発、工程合理化による資源の有効利用

2025年7月1日

代表取締役社長

清水 貴之

図表1

主要業務及び推進組織＜職制＞

職 制		主要業務	推進責任者
経営者 〔社長・専務取締役・統括〕	管理責任者	▽QMS/EMS維持管理及び有効性の継続的改善 ▽事業活動との一体化の推進 ▽品質/環境方針の社内展開 ▽環境負荷物質に関する管理(責任者)	事務局 池本善幸/馬場卓治 小西修史/神戸勇人 安養寺優花
	本 社		
	企 画 部	▽事業環境分析 ▽事業計画 [中期/当期]	
	経営管理部	▽資金計画 ▽財務会計管理 ▽IT関係推進(業務効率化、情報セキュリティ)	森誠 木下真一
	総 務 部	▽人材の確保 [リクルート活動] ▽全体に関わる教育訓練 ▽廃棄物の管理 ▽法的要求事項の管理及び行政、近隣住民への対応	
	購 買 部	▽調達 [材料/部品/外注加工/点検・修理・校正等] ▽クリーン調達 ▽化学物質管理 ▽購買先の管理 [品質/コスト/納期/経営状況など]	岸上進
	国内営業部	▽量産部品の販売及び拡販 ▽新規顧客・新規部品の獲得 ▽顧客とのコミュニケーション ▽顧客要求事項の明確化 ▽顧客満足度の管理 [品質/コスト/納期/サービス] ▽競合他社のベンチマーク	清水尚志
	海外営業部		
	開発営業部		
	技 術 部	▽製造工程の設計 [生産準備プロジェクト/工程FMEA/QC工程図] ▽新規金型の設計・開発 ▽海外工場への技術支援 ▽新工法の研究開発 ▽金型組付け・調整 ▽試作・灰汁だし生産 ▽新規部品の検査方法・計測機器の設定 ▽工程能力調査・限度見本の製作	柏原靖彦 永尾幸則
		▽技術文書 [製品図面/技術仕様書/金型図面] ▽工業所有権(特許)の管理	
		▽金型製作	
	品質保証部	▽製品検査 [受入・工程・出荷] ▽計測機器の管理 [日常点検/校正]	近持裕樹
		ISO 推 進 課	▽ISO推進 池本善幸
	設備技術部	▽生産付帯設備の設計・製作 [パーツフィーダ・ストッカーなど] ▽設備の予防保全 ▽法令に関わる測定業務	橋爪秀岳
大 津 工 場	製 造 部	▽製造 [品種切替/作業条件管理/品質確認など] ▽設備管理 [日常/定期点検] ▽生産治工具の管理 [金型/治具] ▽法令に関わる測定業務 ▽部材の出入庫管理 ▽生産基本計画の作成	西郡明浩
	工場技術部	▽金型のメンテナンス [維持管理] ▽製造部門の問題解決 [金型改善]	長尾成記
	外 観 検 査 課	▽製品の外観検査 ▽作業環境の維持 [照度/集中度の維持など] ▽計量・梱包 ▽製品保管	岡部豊一
宇 都 宮 工 場	製 造 1 部	※本社 技術部に基づく ▽設備の予防保全	増山一良
	外 観 検 査 課	▽製品の外観検査 ▽作業環境の維持 [照度/集中度の維持など] ▽計量・梱包 ▽製品保管	佐々木正行
	製 造 課	▽製造 [品種切替/作業条件管理/品質確認など] ▽設備管理 [日常/定期点検] ▽生産治工具の管理 [金型/治具] ▽法令に関わる測定業務	堀内貴志 手塚正行
	製 造 2 部	▽調達 [材料/部品/外注加工品] ▽クリーン調達 ▽部材の出入庫管理 ▽計量・梱包	小口享宏
	品質保証課	▽製品検査 [受入・工程・出荷] ▽計測機器の管理 [日常点検/校正]	宇野研一
	総 務 課	▽調達 [修理・点検・校正/ソフトウェア] ▽法的要求事項の管理	黒須和代
	(※ 営 業 係)	※本社 営業部に基づく	植松正樹
大 垣 工 場	製 造 課	▽製造 [品種切替/作業条件管理/品質確認など] ▽設備管理 [日常/定期点検] ▽生産治工具の管理 [金型/治具] ▽法令に関わる測定業務	立山一馬 徳満大治郎 松井孝
	※ 技 術 課	※本社 技術部に基づく ▽設備の予防保全	田中隆博
	品質保証課	▽製品検査 [受入・工程・出荷] ▽計測機器の管理 [日常点検/校正] ▽製品の外観検査 ▽作業環境の維持 [照度/集中度の維持など]	疋田裕樹
	業 務 課	▽部材の出入庫管理 ▽調達 [材料/部品/外注加工品/修理・点検・校正/ソフトウェア] ▽クリーン調 達	松田恭治
	(※ 営 業 係)	※本社 営業部に基づく	福田浩之
	(総 務 係)	▽法的要求事項の管理	中山武史

目標一覧表

作成： 2026年7月20日

取組課題	取組内容	目標	完了月	推進組織	特記事項
・省エネルギー活動	◇電力量削減	◇2024年度比 1%削減（CO2排出量） （2024年4月～2025年3月排出量の1%削減） BEMS導入による見える化 ・再エネ利用（使用）の継続 （電力使用量の100%） ・太陽光パネルによる発電 ・工場エアリー漏れ確認・修繕	2026年3月 継続 2026年4月 （稼働開始） 2027年6月	工場全体	別紙
・新工法開発	◇医療部品 軟性鉗子 超極小部品の 生産技術の確立	・軟性鉗子の量産化	2027年3月		試作品製作段階
・材料効率改善	◇自動車ステアリングトルクセン サー部品の順送多列取り	・通常1列取りから4列取りによって材料費を削減	2026年12月		順送型製作済
・加工工程の削減	◇自動車インジェクター用フューエ ルルール部品の加工工程削減	・内面加工レスの確立	2026年7月		2026年7月～ 量産開始

環境美化作業の実施

会社の前を流れる長沢川周辺及び敷地内を流れる
増井川の定期掃除実施



CO₂排出量削減実績推移

[原単位：一人当たり加工高(2017年度比)へ変更以降]

[目標値：前年同月CO₂排出量(原単位)の1%減]

